

国立市コミュニティバス運賃体系について

■ 1 国立市コミュニティバス運賃設定の経緯

国立市コミュニティバス「くにっこ」は平成 14 年度（平成 15 年 3 月）から運行しているが、路線バスとの重複区間が多かったことから運賃は路線バスの初乗り運賃と同額の均一運賃にしたという経緯がある。

その後、平成 26 年 4 月から消費税率が 8%に変更となり、路線バスの初乗り運賃が大人一回 180 円（現金）、175 円（IC 運賃）となったが、国立市コミュニティバスは交通系 IC カードの対応がなされておらず一円単位での運賃収受ができず 175 円の設定ができなかったことから運賃の見直しは実施していない。この結果、運行経費等の消費税増税分は市がこれを負担しているが、事務事業評価委員会の中で、消費税の適正な転嫁が求められているところである。

平成 29 年 4 月に消費税率が変更される際に、交通系 IC カード対応と併せて地域公共交通会議で議論し方針を決めることとしていたが、増税が延期となったため交通系 IC カード導入による一円単位の運賃収受を可能とし、消費税 8%を転嫁した運賃設定とするのが妥当である。

■ 2 運賃設定の考え方

運賃設定の経緯を考えると、消費税 5%を含む 170 円運賃を、消費税 8%に対応させるというのが妥当であり、大人一回乗車 175 円 小人は半額の 88 円となるが、それを受けて IC 運賃と現金での運賃（案）は以下の通りである。

①1 円単位の収受が可能な交通系 IC カードでは大人一回 175 円。小人 88 円。

②10 円単位の収受となる現金では、大人一回 180 円。小人 90 円。

バス利用特典サービス（バス特）については、路線バスに準じた運賃収受体系ということ考えると導入するのが望ましいと考えられる。回数券については、90 円券片 25 枚 2250 円分を 2000 円で販売し（現在は 170 円券 13 枚 2210 円分を 2000 円で販売）、大人が使用する場合は券片 2 枚を運賃箱に入れてもらうこととする。

なお、小人の IC 運賃が現行の 90 円から 2 円値下げとなるが、現行の小人運賃は本来 85 円のを 10 円単位に切り上げて 90 円としているものであることから、一円単位での適正な収受が行われるということで特に問題はない。

また、この運賃見直しはあくまでも消費税の適正な転嫁をはかり本体価格は据え置きであることから東京都によるシルバーバスの運賃補償は継続されるものと考えられる。

■ 3 導入時期

平成 29 年度を予定。

■ 4 運賃収入額の見込みについて

今回の運賃見直しによる運賃収入額の見込みについては以下の通りである。

くにご運賃改定に伴う収入見込み

■H27実績

	回数券販売冊数 (冊)	回数券利用人数 (人)	現金利用人数 (人)		
170 円	6,363	82,719	53,044		
90 円	1,053	12,636	8,103		
	回数券収入 (円)	現金収入 (円)		利用者数 (計)	シルバーパス利用者数 (人：推定)
	13,779,000	9,747,522		279,334	122,832
収入合計	23,526,522				

■H29改定後① (現金で支払う人の7割が交通系ICカード利用に転換すると仮定)

	回数券販売冊数 (冊)	回数券利用人数 (人)	現金利用人数 (人)	IC利用人数 (人)	
180 円	6,617	82,719	15,913		
175 円				37,130	
90 円	505	12,636	2,430		
88 円				5,672	
	回数券収入 (円)	現金収入 (円)	IC収入 (円)	利用者数	シルバーパス利用者数 (人：推定)
	14,244,000	3,083,040	6,996,886	279,332	122,832
収入合計	24,323,926				

■H29改定後② (現金で支払う人の7割と回数券利用者の半数が交通系ICカード利用に転換すると仮定)

	回数券販売冊数 (冊)	回数券利用人数 (人)	現金利用人数 (人)	IC利用人数 (人)	
180 円	3,308	41,359	15,913		
175 円				78,489	
90 円	252	6,318	2,430		
88 円				11,990	
	回数券収入 (円)	現金収入 (円)	IC収入 (円)	利用者数	シルバーパス利用者数 (人：推定)
	7,120,000	3,083,040	14,790,695	279,331	122,832
収入合計	24,993,735				